

教科名(国語)

鵬DP評価表(教科用)		評価基準				
	鵬DPとその定義 点 数	S(応用) 5点	A(つながり) 4点	B(考え) 2点	C(入口) 1点	合計
DP	再認識力	既習の事柄を用いて問題を解き、適切に自己添削できるとともに、復習し新たな問題演習に生かす。	既習の事柄を用いて問題を解き、適切に自己添削できるとともに、進んで復習する。	既習の事柄を用いて問題を解き、適切に自己添削することができる。	既習の事柄を思い出すことができる。	
定義	・考えたり、振り返ったりできたり、得た知識や技能を応用できる力					
DP	情報収集力	場合に応じて情報源を適切に活用するとともに、調べた結果を自らの学習に生かすことができる。	特定の事柄について、複数の情報により根拠を明らかにすることができる。	書籍やインターネットを用いて情報収集をすることができる。	インターネットを用いて情報収集をすることができる。	
定義	・調べるための手段や対象を適切に設定できる力					
DP	問題発見力	主体的に文章を読み、自らが立てた問いの設定理由とその答えを、他者に説明することができる。	主体的に文章を読み、自らが立てた問いを立てることができる。	文章を読み、筆者の問題提起に対して答え・解決策を考えることができる。	文章を読み、筆者が何を問題として取り上げているかが理解できる。	
定義	・課題を的確にとらえたり、捉えた課題から新たな視点や発見ができる力					
DP	分析力	複数のデータ・資料や文章を組み合わせた問題を正しく解くとともに、解答の根拠を明確に説明することができる。	複数のデータ・資料や文章を組み合わせた問題を解き、指定された条件に合わせて答案を作ることができる。	複数のデータ・資料や文章を組み合わせた問題を解く際、その内容を正確に読み取ることができる。	複数のデータ・資料や文章を組み合わせた問題を解くことができる。	
定義	・論理的に思考できたり、データの特徴を的確にとらえることができる力					
DP	共感力	筆者の見解や登場人物の行動・心情などを正しく理解し、自らの考えを深めたり、他者を理解するのに役立てたりすることができる。	筆者の見解や登場人物の行動・心情などを正しく理解し、それに対する自らの意見をもつことができる。	筆者の見解や登場人物の行動・心情を読み取り、その背景にあるものを理解することができる。	筆者の見解や登場人物の行動・心情が書かれている部分を指摘することができる。	
定義	・自分の意見を主張するだけでなく他者の意見や感情を理解することができ、さらにいろいろな意見を総合してよりよいものを想像することができる力					
DP	表現実行力	場合に応じて適切な表現手段を選択するとともに、自らの考えを他者へ分かりやすく伝え、質問や意見に対して論理的に説明することができる。	場合に応じて適切な表現手段を選択するとともに、自らの考えを分かりやすく論理的に伝えることができる。	場合に応じて適切な表現手段を選択するとともに、自らの考えを他者へ伝えることができる。	対話を通して自らの考えを他者へ伝えることができる。	
定義	・物事を他者に伝えられたり、実際に行動につなげる力					